

令和6年度

一般財団法人新潟県建設技術センター研究助成事業

水原駅前通りの道路拡張を契機とした地域活性化に関する事業

成果報告書

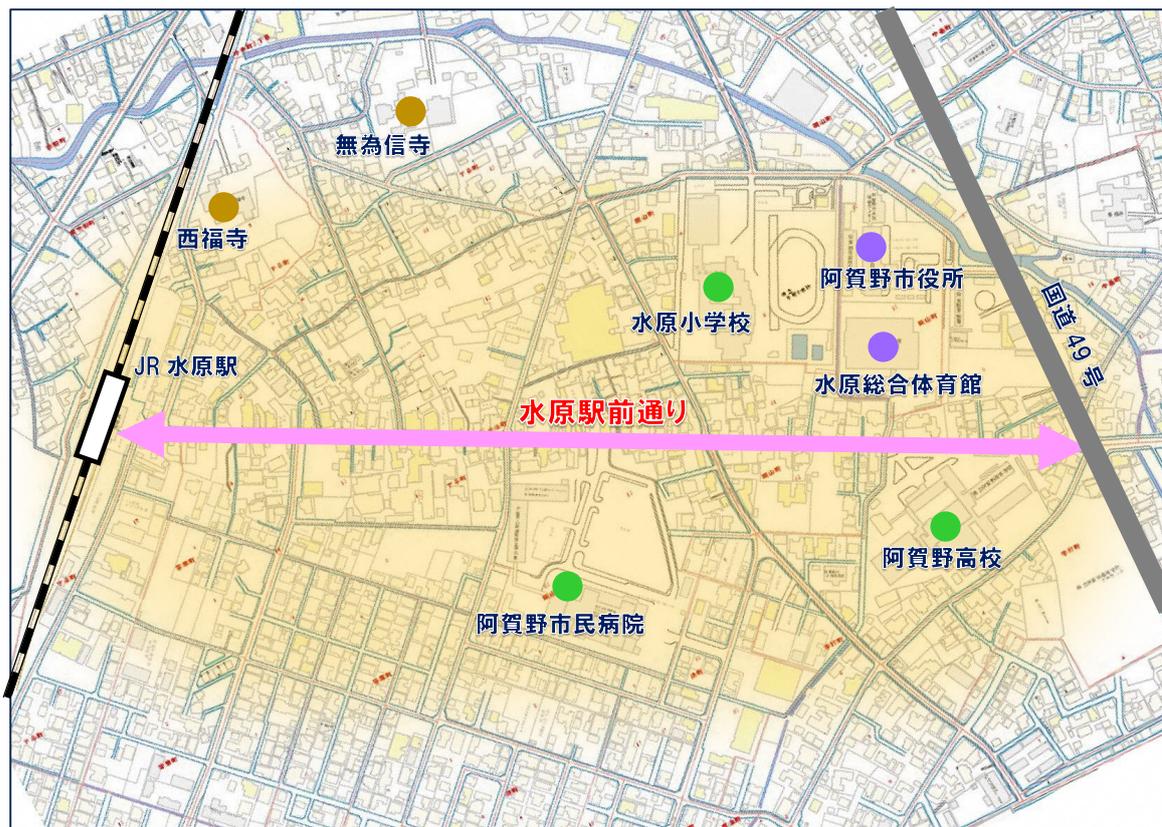
令和7年3月

代表申請者

停2自治会 自治会長 中野孝英

1. 活動の目的

令和5年12月に、水原駅前通りの道路拡幅整備（施行者：新潟県）の施行が正式に決定された。これを契機として、地域住民が自ら、人口減少、空き家・空き地問題等の課題と向き合い、今後水原駅前通りの周辺がどのような「まち」を目指していくかについて、ワークショップを通じ意見を出し合い、意思統一を図ることで、持続可能な住みよいまちの将来像を見定めることを目的とし活動を行った。また、取りまとめた意見を行政に提示し、事業の遂行に地域住民の意見を反映できるよう働きかける。



■水原駅前通りの周辺 案内図

2. ワークショップの開催について

開催日時及び会場、ワークショップのテーマは以下の表の通り。

回	日時	開催会場	ワークショップのテーマ
1	令和6年7月25日	阿賀野市役所	水原駅前通り周辺のまちづくりを考える！
2	令和6年9月3日	阿賀野市役所	水原駅前通り周辺の将来像を考える！
3	令和6年10月22日	阿賀野市役所	こんなまちをつくりあげよう！

3. ワークショップの開催記録

第1回 水原駅前地区まちづくりワークショップ

(1) ワークショップの目的

水原駅前通りの道路拡幅整備を契機とした地域の活性化に向けて、『水原駅前通り周辺のまちづくりを考える!』をテーマに、期待すること・解決したい課題、改善策（アイデア）について、自由に意見・アイデアを出し合うワークショップを開催した。

(2) ワークショップの概要

日 時： 令和6年7月25日（木）14：00～16：00

場 所： 阿賀野市役所1階多目的ホール

参加者： 12名（オブザーバー 新潟県：2名、阿賀野市：2名、サンワコン：3名）

主 催： 停二自治会長 中野

協 力： 阿賀野市建設課



(3) プログラム

1 開会、挨拶

2 はじめに

1) 第1回ワークショップの進め方

3 情報提供

1) 水原駅前通りの拡幅工事について

2) 阿賀野市の都市計画について

3) 水原駅前通り沿道の様子

4 ワークショップ テーマ：水原駅前通り周辺のまちづくりを考える！

1) 役割分担・テーマの説明

2) 期待すること、解決したい課題

3) 改善策（アイデア）

4) まとめ

5 発表

6 意見の総括、閉会

(4) 各班の発表内容

◆ ご意見・ワークシート



…付箋の色分け 期待すること・解決したい課題 改善策(アイデア)

参加者12名が2班に分かれ、班ごとに「水原駅前通り周辺のまちづくりを考える！」というテーマのもと、「青：期待すること・解決したい課題」、「赤：改善策（アイデア）」の視点から、自由に意見・アイデアを出し合い議論をした。次ページに発表内容を整理する。

テーマ「水原駅前通り周辺のまちづくりを考える！」

1 班

期待すること・解決したい課題	改善策（アイデア）
<p>● 交通機能・安全・防犯</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・防災・防犯対策が必要 ・歩行者、自転車の安全を確保したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・通りに防犯カメラ(監視カメラ)を設置 ・防犯灯(街灯)の再設 ・各交差点にカーブミラーの設置 ・点字ブロックの設置 ・歩行者専用通路を整備 ・自転車道(専用レーン)の整備
<p>● 空家・空地の活用</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後事業が進むと空家が出てくる ・空家を無くす対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・空家を雨除けの休憩所に活用し、自動販売機を設置 ・空家に商店を誘致 ・空家の所にファストフード店、コンビニ、喫茶店又はパーラー的なお店ができれば ・イベント会場として空地を利用する
<p>● 水原駅前空間</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・駅の敷地内でバスの発着ができるように ・学校帰りに友達と楽しめる場所がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前にバス発着可能なロータリーを設置 ・ミニ公園の設置
<p>● ウォークابل</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・通りに休憩できる場所がほしい ・高齢者の交流スペースがほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチの設置 ・Wi-Fi スポットを設置 ・スマホ等が充電できる場所を設置 ・通りに観光案内看板を設置
<p>● 賑わいづくり</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校・小学校とコラボして通りで屋台を開催したい ・インスタ映えがするフォトスポットを設置
<p>● 景観・親しみ</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・通りの景観づくり ・駅前通りに新しい道路名称を付け、親しみやすい道路にしたい ・交差点に名称を付け、わかりやすくしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇の設置 ・駅前旭通り、スワン通り、すこやか通り

2 班

期待すること・解決したい課題	改善策（アイデア）
<p>● 交通機能・安全・防犯</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全を確保したい ・防犯対策が必要 ・夜間、通りが暗い ・街なかに駐車場がほしい ・バス停の快適性の向上 雨対策 ・駅前通りから小学校へ曲がる道路が狭く車が通るのが危ない(庚町停三線) ・子供たちの通学の安全に不安 ・国道49号線交差点について、信号なしで曲がる左折レーンを設置してほしい ・水原総合体育館に抜ける歩道(学校町市役所歩道線)を延伸してほしい ~小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点の歩行者待機場所にガードレールを設置 ・駅前、病院前、交差点前に防犯カメラの設置 ・統一感のある街路灯の設置 ・車の駐車スペース、駐車場の整備 ・バス停の待ち場に屋根をつける ・特色有るバス停を整備 ・道路を広げる ・注意喚起の標識、信号機の設置 ・歩道(学校町市役所歩道線)の東側家屋が空家であり、道幅を広げて水原総合体育館まで車道としロータリー化させる
<p>● 空家・空地の活用</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・空地・空家の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・空地を利用して屋根付きバス停の設置 ・空家を隠れ家カフェみたいにしてほしい ・空地を利用して観光案内板や緊急時避難場所の地図などの案内板を設置
<p>● 水原駅前空間</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前ロータリーの改善 ・利便性、快適性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅の待合室を市の情報発信の基地として充実 ・JR線の増便、無人駅の解消 ・近くに駅利用者の待ち合わせ等に使える店舗があれば ・トイレを増やす きれいなトイレ ・身なりを整えるスペースを設置
<p>● ウォークابل</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・通りに休憩スペースがほしい ・ウォークابل ・住宅が増えたためコミュニティづくりが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・コンビニ(イートインスペース) ・夏の熱中症対策の為にミストがでる装置(ミストシャワー)の設置 ・自動販売機がほしい(5台くらい) ・アーケードの設置 ・コミュニティの場として緑の空間を整備 ・通りに屋根付きベンチの設置 ・スターバックスコーヒーがほしい(しこーえん向かいの駐車場あたり) ・案内標識
<p>● 賑わいづくり</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催 ・人を呼ぶしかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸能人(誰でも知っている人)を呼ぶ ・フォトスポットの設置(キラキラかわいい、おしゃれ) ・足湯をする場所、人力車

第2回 水原駅前地区まちづくりワークショップ

(1) ワークショップの目的

地域の活性化に向け、第1回ワークショップで頂いた意見・アイデアから見えてくるキーワード、まちづくりの事例を参考に、『水原駅前通り周辺の将来像を考える！』をテーマに、水原駅前地区が将来的にどのようなまちになって欲しいか、まちの“将来像”についてグループワークを行った。

(2) ワークショップの概要

日 時： 令和6年9月3日（火）14：00～16：00

場 所： 阿賀野市役所1階多目的ホール

参加者： 6名（オブザーバー 新潟県：4名、阿賀野市：2名、サンワコン：3名）

主 催： 停二自治会長 中野

協 力： 阿賀野市建設課



(3) プログラム

1 開会、挨拶

2 はじめに

1) 第2回ワークショップの進め方

3 第1回ワークショップの振り返り

4 まちづくりの事例の紹介

①南魚沼市：三国街道塩沢宿牧之通り、まちなかウォークアブル推進事業 ②通りで行うイベント事例（南魚沼市：つむぎ通り「軽トラ市」、糸魚川市：糸魚川マルシェ）③まち美化 アダプト・プログラム（新潟県：うるおいの郷土はぐくみ事業、聖籠町：聖籠さわやかクリーンサポート事業）④空き家・空き店舗の活用事例（阿賀町：奥阿賀コンビリー、三条市：三・Me）⑤空き地の活用事例（大阪府大阪市：まちかど広場、福井県福井市：新栄テラス）⑥見附市：見附駅周辺整備事業 ⑦まちづくり（地域活性化）による好循環

5 ワークショップ テーマ：水原駅前通り周辺の将来像を考える！

1) 役割分担・テーマの説明

2) 期待すること、解決したい課題

3) 改善策（アイデア）

4) まとめ

6 発表

7 意見の総括、閉会

(4) 各班の発表内容

◆ ご意見・ワークシート



参加者6名が「水原駅前通り周辺の将来像を考える！」というテーマに、第1回ワークショップで頂いた意見・アイデアから見えてくるキーワード、まちづくりの事例を参考として、水原駅前通り（その沿道）、水原駅前が、将来こんな通り、駅前になってほしいかについて、意見を出し合い議論をした。

次に、出された皆の意見を活用しながら、水原駅前通り周辺の“将来像”について議論、参加者の共有を図り、“将来像”を定めた。

将来像

水原を感じ 交流が生まれ つながりのあるまち

次ページに出された意見及び、“将来像”について整理する。

テーマ「水原駅前通り周辺の将来像を考える！」

将来像を構成するキーワード(第1回ワークショップ)	出された意見 こんな通り、駅前になってほしい	将来像を考える
交通機能・安全・防犯 #防犯カメラ、街路灯 #ガードレール、カーブミラー、点字ブロック #点字ブロック #バス停に屋根 #駐車場 #標識、信号機 #歩行者専用道路、自転車道 #庚町停三線を広げる #学校町市役所歩道線を広げる	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 歴史が感じられる街(町) ◇ 駅利用者が滞留したくなるまち ◇ 観光客にもやさしいまちづくり ◇ 広くて居心地のいい通り ◇ 交流がたかさんできる通り 	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>水原を感じる</p> <p>水原の歴史、文化、自然、やさしさを感じる</p> </div> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>交流を生む</p> <p>行きかう人が増え、交流が生まれ、にぎわいのあるまち</p> </div> <div> <p>つながる</p> <p>人のつながり、お店・観光、町じゅうがつながる</p> </div> </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: -20px; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-weight: bold; color: blue;"> 将来像 水原を感じ 交流が生まれ つながりのあるまち </div>
空き家・空き地 #空き家を休憩所に #自動販売機 #商店誘致 #ファストフード店、コンビニ、喫茶店、バーラー #隠れ家カフェ #屋根付きバス停 #イベント #空き地 #観光案内板等	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 歩道沿いに市の芸術家の作品を展示する場がある ◇ 日常的に人があつまることになる町(図書館) ◇ 駅に観光協会 レンタサイクル トイレ併設 ◇ 何でもそろう通り ◇ にぎわいがあふれる通り 	
水原駅前 #駅前にロータリー #ミニ公園 #情報発信 #JR線の増便、無人駅の解消 #待ち合わせ #きれいなトイレ、身なりを整えるスペース	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 生産者と消費者がともに話題を語る場所 ◇ スモールビジネスがしやすい通り ◇ 空き家を利用し、自由に开店(チャレンジショップ) ◇ 空き家、空き店舗を利用する(利用しやすい) 	
ワーカーブル #ベンチ、屋根付きベンチ #Wi-Fi スポット、スマホ充電 #観光案内看板 #公園、コンビニ、自動販売機 #アーケード #コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 身近な所で日常的な買い物ができるお店 ◇ 健康づくりができる街 ◇ レンタサイクルで市内どこでも行ける通り、まちづくり 	
にぎわいづくり #屋台 #芸能人を呼ぶ #フォトスポット #足湯、人力車	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 駅前にいつでもバスが(オンデマンドバス) ◇ まちなかに駐車場(空き地を利用) ◇ 歩きやすいまち(車と歩行者が共存できる) 	
景観・したしみ #花壇 #駅前通り、親しみやすく		

第2回ワークショップでは、「水原駅前通り周辺の将来像を考える！」というテーマのもと、水原駅前通り（その沿道）、水原駅前が、将来こんな通り、駅前になってほしいかについて、意見を出し合い議論をした。

出された意見から、水原駅前地区の地域の活性化に繋がる将来像として、“**水原を感じる**”、“**交流を生む**”、“**つながる**”の3つのビジョンに集約し、将来像として『水原を感じ 交流が生まれ つながりのあるまち』と定め、参加者全員の意識の共有化を図った。

第3回 水原駅前地区まちづくりワークショップ

(1) ワークショップの目的

地域の活性化に向けて、第1回ワークショップで頂いた意見・アイデアを参考とし、第2回ワークショップで地域の活性化に繋がる将来像として共有を図った「水原を感じ 交流が生まれ つながりのあるまち」に近づくには、自分たちで何をすべきかについて考えた。

(2) ワークショップの概要

日 時： 令和6年10月22日（火）14:00～16:00

場 所： 阿賀野市役所3階 302 会議室

参加者： 10名（オブザーバー 新潟県：3名、阿賀野市：2名、サンワコン：3名）

主 催： 停二自治会長 中野

協 力： 阿賀野市建設課



(3) プログラム

- 1 開会、挨拶
- 2 はじめに
 - 1) 第3回ワークショップの進め方
- 3 第1回、第2回ワークショップの振り返り
- 4 ワークショップ テーマ：こんなまちをつくりあげよう！
 - 1) 役割分担・テーマの説明
 - 2) まちづくりで実現したいこと
 - 3) 自分でできること、やってみたいこと
- 5 発表
- 6 意見の総括、閉会

(4) 各班の発表内容

◆ ご意見・ワークシート

【1班】 学生



【2班】 事業者



…付箋の色分け まちづくりで実現したいこと 自分でできること、やってみたいこと

【3班】 自治会



…付箋の色分け まちづくりで実現したいこと 自分でできること、やってみよう

参加者 10 名が、関係者毎に 3 班（1 班：学生、2 班：事業者、3 班：自治会）に分かれ、第 1 回ワークショップで頂いた意見・アイデアを参考とし、第 2 回ワークショップで地域の活性化に繋がる**将来像**として共有を図った、**水原を感じ 交流が生まれ つながりのあるまち**、に近づくには、自分達で何をすべきかについて考えた。

「青：まちづくりで実現したいこと」、「赤：自分でできること、やってみよう」の視点から、意見・アイデアを出し合い議論した。次ページに発表内容を整理する。

テーマ「こんなまちをつくりあげよう！」

将来像 『水原を感じ 交流が生まれ つながりのあるまち』

1 班 (学生)

	まちづくりで実現したいこと	自分でできること、やってみたいこと
カフェ	・カフェができる場所がほしい(レトロな感じ)	・カフェが出来たら友達と利用したい
空き家 空き地	・空き地を利用し、ドッグラン・キャットラン ができる場所 ・空き家を利用し、猫とふれ合える場所(猫 カフェ)	・猫カフェが出来たら猫を遊ばせたい
展示場	・沿道に写真や絵を展示する場所	・出展してみたい
イベント	・イベントができる広場の整備	・こんなイベントがあったらいいな、参加し たい 春:梅干をつくる 夏:流しそうめん大会 秋:魚を焼いて食べる 冬:雪合戦、もちつき TV「逃走中」みたいなイベント ・イベントの企画から関わりたい
歴史 観光	・水原の歴史を感じられる案内板を設置 ・外からの観光客を呼び込む(観光バスの 発着が可能なバス停)	・SNS で水原のまち情報を発信したい(歴 史・観光・グルメ)
にぎわい	・ラウンドワンのスポッチャのようないろ んな運動・スポーツができる施設 (室内運動施設)	・施設ができれば利用したい
道路名	・水原駅前通りの名称が、阿賀野メインス トリート、スワン通り、水原駅前通り等に 月々変わると面白い。	
維持管理	・水原駅前の自転車小屋をきれいにしてほ しい	

2 班 (事業者)

	まちづくりで実現したいこと	自分でできること、やってみたいこと
観光・地域 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・案内所の設置 案内人による解説 水原の歴史、観光が一目で分かるスペース カフェと足湯が一体となった施設 歴史スポットの紹介 ・飲食店の案内図(マップ)作成 ・人力車やレンタサイクルを利用してまちなか周遊→地域の活性化 ・観光案内、マップの作製 ・市内のイベント情報などを駅の待合室や道路上の掲示板で発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校と連携し、子供(小中学生)が観光客を案内、おもてなしをする活動 ・カウンセリングルーム併設の喫茶店が開店できれば(コミュニケーション)
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・電柱の地中化→景観・歩きやすい ・アーケードの設置 	
空き家 空き地	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ(舞台)の設置 歌、演歌 落語、漫才等の披露・ ・案内看板の設置 ・まちなか図書館の整備 勉強スペース、休憩スペース、ドリンクスペースとして利用 ・空き家を宿泊施設として利用 ・空き地にきれいなトイレを設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規開業の手助けとして、商工会の協力・助言を受けられる環境づくり ・空き家、空き地を市が借り上げ、市民に貸し出すような制度づくり ・空き家、空き地などに、若者が気軽に店を出店できる制度づくり→チャレンジのしやすさ ・市と協力し、商工会が出店希望者を誘致し、空き家を利用してもらう
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・水原町の様々なお店が出店できる広場づくり(キッチンカー、マルシェの開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催の時は商工会として参加したい ・子供(小中学生)とコラボしたお店の出店
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング(ジョギング)ロードの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング(ジョギング)による健康づくり
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかに駐車場を設置 	
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・まち美化アダプトプログラム事業の導入 道路管理者の美化事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で組織を作り清掃活動を行いたい ・子供(小中学生)と連携した清掃活動

3 班 (自治会)

	まちづくりで実現したいこと	自分でできること、やってみたいこと
観光・地域 情報発信	・水原駅に観光案内板、観光マップを設置する。	・地元と行政による手づくり感のある案内看板づくり
健康	・駅前通りを軸とした散歩コースの案内板の設置	
空き家 空き地	・移動販売ができる空き地の確保(空き家) ・アンテナショップが出来る空き家の活用 ・ポケットパークの整備	
歩道整備	・水原総合体育館に抜ける歩道(学校町市役所歩道線)脇の水路を暗渠化し歩道空間を確保する	
道路名	・各交差点の名前の表示板を設置	・交差点の表示板を地元で考え、作成したい
住環境	・駅前通り南西部、若葉町周辺の住環境の改善、住宅地の再整備→建物古い、道路が狭い	
景観	・アーケードの設置	
維持管理		・ポケットパーク等が整備されたら、美化活動を行いたい
防犯・安全	・現在の街灯はそのまま残す	
にぎわい		・地元で商店を支援、育てていきたい

4. パンフレットの作成、啓発活動

ワークショップの結果について広く地域住民に周知、報告を行い、まちづくりに対する意識の啓発に即するため、パンフレットを作成した。

水原駅前地区まちづくりワークショップを開催しました

1. ワークショップの目的

水原駅前通りの道路拡幅整備を契機とし、地域住民が自ら、水原駅前通りの周辺地域が将来的にどのようなまちになって欲しいかについて、ワークショップによって、参加者同士で意見を出し合い、持続可能な住みよいまちの将来像をみんなで考えました。

ワークショップは計3回開催され、自治会、阿賀野高校学生、商工会、水原小学校代表等幅広い関係者から多数の参加をいただき、水原駅前地区の未来を一緒に考えました。

2. ワークショップの開催経過

回	日時	開催会場	ワークショップのテーマ	参加者
1	令和6年7月25日(木) 14:00~16:00	市役所 多目的ホール	水原駅前通り周辺のまちづくりを考える！	12名
2	令和6年9月3日(火) 14:00~16:00	市役所 多目的ホール	水原駅前通り周辺の将来像を考える！	6名
3	令和6年10月22日(水) 14:00~16:00	市役所会議室	こんなまちをつくりあげよう！	10名

3. 第1回ワークショップの結果

参加者12名が2班に分かれ、班ごとに「水原駅前通り周辺のまちづくりを考える！」というテーマのもと、自由に意見・アイデアを出し合い議論しました。

【主な意見・アイデア】

交通機能・安全・防犯

- ・通りに防犯カメラ(監視カメラ)を設置
- ・統一感のある街路灯の設置
- ・交差点の歩行者待機場所にガードレールを設置
- ・カーブミラーの設置、点字ブロックの設置
- ・バス停の待合場に屋根をつける
- ・車の駐車スペース、駐車場の整備
- ・歩行者専用道路を整備 ・自転車道(専用レーン)の整備

空き家・空き地の活用

- ・空き家を雨除けの休憩所に活用
- ・空き家に商店を誘致
- ・空き家を隠れ家カフェみたいにしてほしい
- ・空き地を利用して屋根付きバス停の設置
- ・イベント会場として空き地を利用する
- ・空き地を利用して観光案内板や緊急時避難場所の地図などの案内板を設置

水原駅前

- ・駅前にバス発着可能なロータリーを設置
- ・ミニ公園の設置
- ・駅の特産を市の情報発信の基地として充実
- ・トイレを増やす きれいなトイレ

ウォーカブル(居心地が良く歩きやすくなるまちなか)

- ・通りに屋根付きベンチの設置、コミュニティの場
- ・Wi-Fi スポット、スマホ等が充電できる場所を設置
- ・通りに観光案内看板を設置
- ・夏の熱中症対策のためにミストシャワーの設置
- ・自動販売機がほしい(5台くらい)

にぎわいづくり・景観・親しみ

- ・高校・小学校とコラボして通りで屋台を開業
- ・フォトスポットの設置、花壇の設置
- ・足湯をする場所、人力車
- ・駅前通りの名称を親しみやすい名称に

4. 第2回ワークショップの結果

参加者6名が「水原駅前通り周辺の将来像を考える！」というテーマに、第1回ワークショップで頂いた意見・アイデアから見えてくるキーワード、まちづくりの事例を参考として、水原駅前通り周辺の“将来像”について議論、参加者の共有を図り、“将来像”を定めました。

水原を感じる

- ・歴史が感じられるまち
- ・駅利用者が滞留しなくなるまち
- ・観光客にもやさしいまち
- ・広くて居心地のいい通り 等

水原の歴史、文化、自然、やさしさを感じる

交流を生む

- ・交流がたくさんできる通り
- ・日常的に人があつまる(図書館)
- ・空き家を利用し、自由に開店
- ・日常的な買い物ができるお店 等

行きかう人が増え、交流が生まれ、にぎわいのあるまち

つながる

- ・健康づくりができるまち
- ・レンタルサイクルで市内どこでも
- ・駅前にオンデマンドバス
- ・歩きやすいまち 等

人のつながり、お店・観光、町じゅうがつながる

まちの将来像 水原を感じ 交流が生まれ つながりのあるまち

5. 第3回ワークショップの結果

地域の活性化に向けて、第1回ワークショップで頂いた意見・アイデアを参考とし、第2回ワークショップで地域の活性化に繋がる将来像として共有を図った「水原を感じ 交流が生まれ つながりのあるまち」に近くには、自分たちで何をすべきかについて考えました。

【自分たちでできること、やってみたいこと 主な意見】

学生のご意見

- ・カフェが出来たら友達と利用したい
- ・空き家を利用した猫カフェがあれば利用したい
- ・沿道に写真や絵の展示場所があれば出展してみたい
- ・季節に応じたイベントがあれば参加したい
- ・イベントの企画から関わりたい
- ・SNSで水原のまち情報を発信したい(歴史・観光・グルメ)
- ・室内運動施設があれば利用したい

自治会のご意見

- ・地元と行政による手づくり感のある案内看板づくり
- ・交差点の表示板を地元で考え、作成したい
- ・ポケットパーク等が整備されたら、美化活動を行いたい
- ・地元で商店を支援、育てていきたい

事業者のご意見

- ・小中学校と連携し、子供(小中学生)が観光客を案内、おもてなしをする活動
- ・喫茶店で交流、コミュニケーションをしたい
- ・新規開業の手助けとして、商工会の協力・助言を受けられる環境づくり
- ・空き家、空き地などに、若者が気軽に店を出店できる制度づくり・チャレンジのしやすさ
- ・市と協力し、商工会が出店希望者を誘致し、空き家を利用してもらおう
- ・ウォーキング(ジョギング)による健康づくりをしたい
- ・イベント開催の際は商工会として参加したい
- ・子供(小中学生)とコラボしたお店の出店
- ・地域で組織を作り清掃活動を行いたい
- ・子供(小中学生)と連携した清掃活動

6. ワークショップを通じて

水原駅前通りの活性化について多様な参加者から様々な意見や具体的なアイデアが出され、地域の活性化に向けて、将来像「水原を感じ 交流が生まれ つながりのあるまち」の姿を想像、共有を図ることができました。

今後は、市民と行政が役割を分担して互いに連携・協力し合いながら、地域の特性や地域資源を活かした活動などに自分たちも積極的に取り組み、地域住民みんなで持続可能な住みよいまちづくりを目指していきたいと思えます。

■パンフレット

5. おわりに

ワークショップを通じ、地域の将来像「水原を感じ交流が生まれ つながりのあるまち」を共有し、水原駅前通りの周辺が持続可能な住みよいまちづくりを行うためには、自分達で何をすべきかについて、改めて考えることで、今後『協働のまちづくり』について、意識の共有を図ることができた。

今後は、持続可能な住みよいまちづくり、地域の活性化を目指し、市民と行政が役割を分担して互いに連携・協力し合いながら、地域の特性や地域資源を活かした活動などに取り組んでいきたい。

15